

事業所における自己評価結果表（公表）

令和2年9月15日 わんぱくキッズ

わんぱくキッズ児童発達

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制設備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100	0	自由遊びの時など一つの部屋に集中しないようにプログラムに変化を持たせている	放課後との多機能で行っているため、人数は多すぎることはない
	② 職員の配置数は適切であるか	100	0	可能な限りマンツーマンで活動している	法令順守している
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100	0	トイレにわかりやすく親しみやすい絵で表示したり、入ってはいけないところもわかりやすく表示してある。	障害の特性にともない、構造化したりバリアフリーを導入している
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100	0	朝と帰りの掃除は徹底して行っている。感染対策のための生国は1時間に1回換気も行っている	
適切な支援の提供	⑤ 業務改善を進めるためPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100	0	振り返りが重要であると考え、反省の時間を設けている	全職員でPDCAを行っている
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100	0	保護者に評価していただくことで事業所がよくなることを保護者に理解してもらっている	保護者からのご意見は大切に受け止めている
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所会報やホームページ等で公開しているか	100	0		公表している
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	40	60	第三者選定中である	今後の課題である
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100	0	職員会議のたびに勉強している	外部研修で知りえた内容は全職員で共有している
	⑩ アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100	0	ケース会議や日々の打ち合わせで情報を共有している	情報は全職員で共有している
	⑪ 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100	0	ポータープログラムや遠城寺式を使用している。得られた結果をもとに日々の活動プログラム作成、アプローチの方法に生かしている。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100	0	普段から近隣の幼稚園のパンフレットを集めて必要な時に提供している	お問い合わせがあったときのために準備している
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100	0	児童発達支援計画について担当者会議等で討議している	一人一人の目標やねらいを常に考えつつ活動している
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100		職員の反省等での意見を参考に考えている	

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100		見通しの持てる活動を心がけている	活動の流れはなじみのあるものになっているが、少人数なこともあり、一人一人に合ったプログラムを考えている
	⑯	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100			子供の発達の状況に応じて個別支援は行っている
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100			担当の子供と前回の様子や保護者の様子などについても詳しくおこなうようにしている
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	100			その日のうちに反省を行い、記録に収めている
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			日案作成とともに子供の反応や発見、成長などを記録している
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100			見直しの時期はもちろん、子供の成長によっても手直しを行う
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80	20		障害相談事業所からの要請があれば、子供の状況に精通した最もふさわしいものが参画したい
	㉒	母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援をおこなっているか	100			保健士さんや相談事業所の相談員の方とは情報共有している
	㉓	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	60	40		現在、重症心身障害児のお子さんの利用はないが、ご利用があれば関係各所と連絡を取り情報を共有していきたい
	㉔	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等を支援している場合) 子供の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	60	40		現在、重症心身障害児のお子さんの利用はないが、ご利用があれば関係各所と連絡を取り情報を共有していきたい
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を計っているか	100			保育園との併用のお子さんの利用もあり、保育園での様子や課題を情報共有している
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(商学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を行っているか	100			該当するお子さんはいないが、あれば行いたい
	㉗	ほかの児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100			児童発達支援センターとの連携は行い、助言をいただいている
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子供と活動する機会があるか	60	40	コロナ感染症のリスクを考慮し行っていない	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域子供・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100			必要があればいつでも参加している
	㉚	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解をもっているか	100		話しやすい雰囲気となるように配慮している	保護者とは子供の良いところ成長を喜び合える関係を構築できるよう、こころがけている。いろいろな相談ができる関係となるよう努力している
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	100			ペアレントトレーニングの手法を利用して支援にあっている

保護者への説明責任等	③2	運営規定、利用者負担金について丁寧な説明を行っているか	100			契約の際に丁寧に説明し、質問も受けている
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100			よく説明し、同意を得られた場合には捺印とご署名をいただいている
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100		保護者の表情やしぐさなどにも注意して対応している。情報を共有している。	モニタリング以外でも必要に応じて相談室等で話しを聞く体制はできている
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	60	40	保護者同士の雑談や連携が取れるような時間は確保している	父母会はないが、相談会等で保護者同士の連携、雑談等は大切にしている
	③6	子供や保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			緊急性のあることには迅速に対応している。常に対応できるように職員体制も考えている
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者にたいして発信しているか	100			定期的にお便りを発行し、子供の様子を知らせている
	③8	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	100			個人情報には留意して対応している
	③9	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			配慮が必要な方には優先的に意思の疎通を行うようにしている
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	60	40		事業所全体の行事には地域の住民の方が気軽に来ていただけるように努力している
非常時の対応	④1	緊急対応マニュアル。防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100		普段の状況を精査し、完成し、活用している。	
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100		避難訓練の際には子供を怖がらせないように配慮している	定期的に訓練は行っているが回数は少ない
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子供の状況を確認しているか	100			契約の際の重要確認事項として確認している
	④4	食物アレルギーのある子供について、医師の指示所に基づく対応がなされているか	100			現在アレルギーのお子さんはいないが、ある場合は医師の指示所を提出してもらい、対応に当たる
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100			ヒヤリハットがあれば記録し、事業所内で共有し、再発防止に努める
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100		普段から虐待については話しやすい職場環境であるように配慮している。	外部研修、内部研修ともに行っている
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	100			現在、身体拘束を行うお子さんはいないが、必要があれば保護者に十分な説明を行い、了解を得たうえで個別支援計画に記載していきたい。